

6-6 岐阜・長野県境付近の地震活動（1990年5月5日～26日）

Seismic Activity near the Border of Gifu and Nagano Prefectures
(May 5 - 26, 1990)

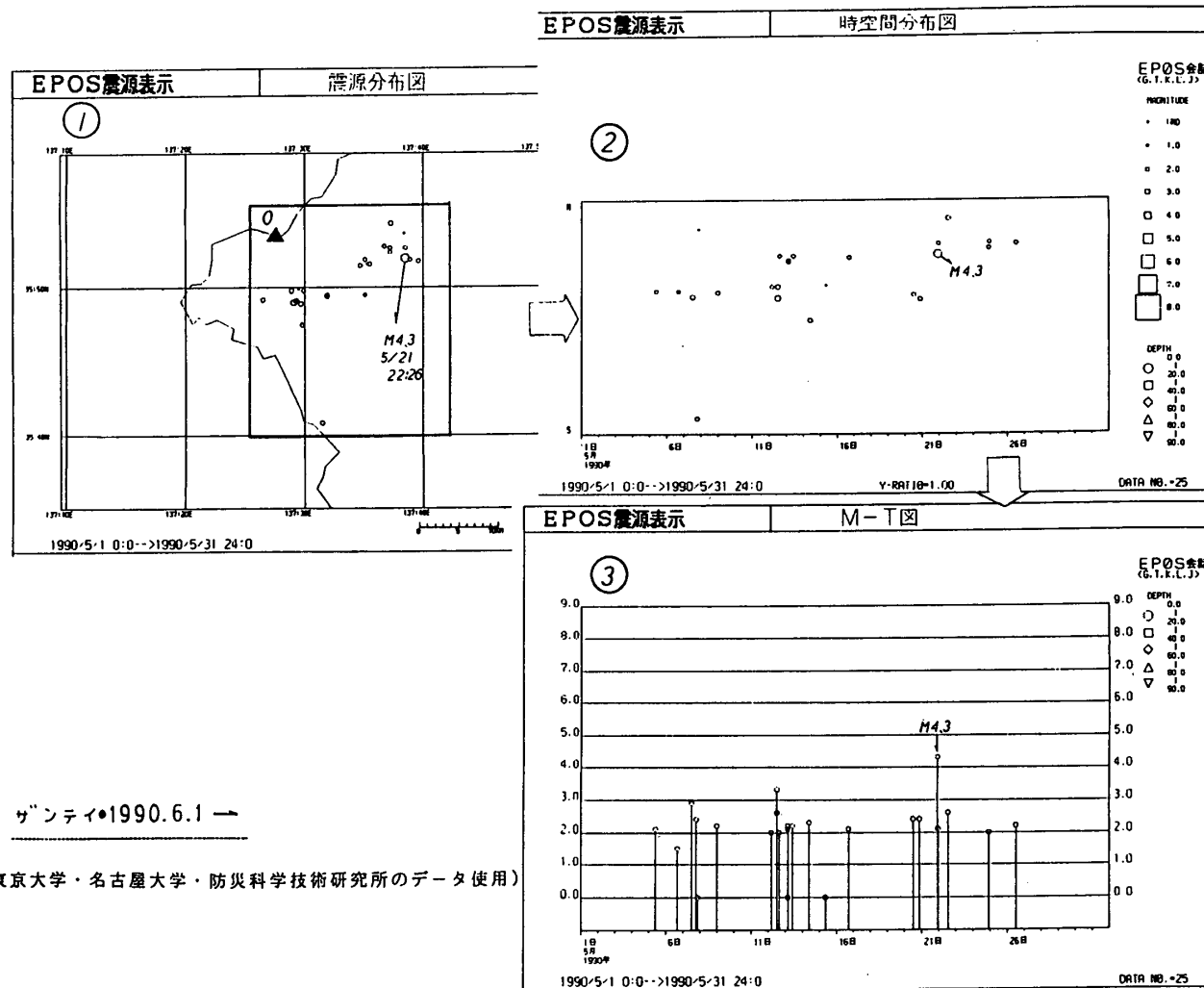
気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

1990年5月5日～26日にかけて、岐阜・長野県境付近で地震活動が活発化した。この期間の震源決定地震数は25個、最大地震はM4.3（21日22時26分05.8秒，35° 52.0′ N・137° 38.5′ E，深さ10.4km）で有感（最大震度Ⅱ：飯田・高山）。なお，有感となった地震はこれ1個のみである〔第1図〕。今回の活動域は，御岳山の南東麓で，「昭和59年長野県西部地震」の余震域に当たる。その後，活動は静かな状態で経過したが，8月6日08時11分にこの付近でM4.2の有感地震（最大震度Ⅰ：高山）が発生した。しかし，これは活動が再活発化したことによるものではない。

本年に入って，富山・長野県境及び岐阜・長野県境付近で地震活動が活発化（4地域）している〔第2図〕。1月24日からの乗鞍岳南西麓，2月18日からの野口五郎岳付近，4月1日からの焼岳東麓，今回の御岳山南東麓の活動などである。そして，これらの活動域はほぼ南北に並び，活動活発化の状態が，順次北から南に移動するようなパターンを示したことは興味深い。

注：今回の地震活動以外の上記3地域の活動については，地震予知連絡会会報第44巻にその詳細が掲載されている。

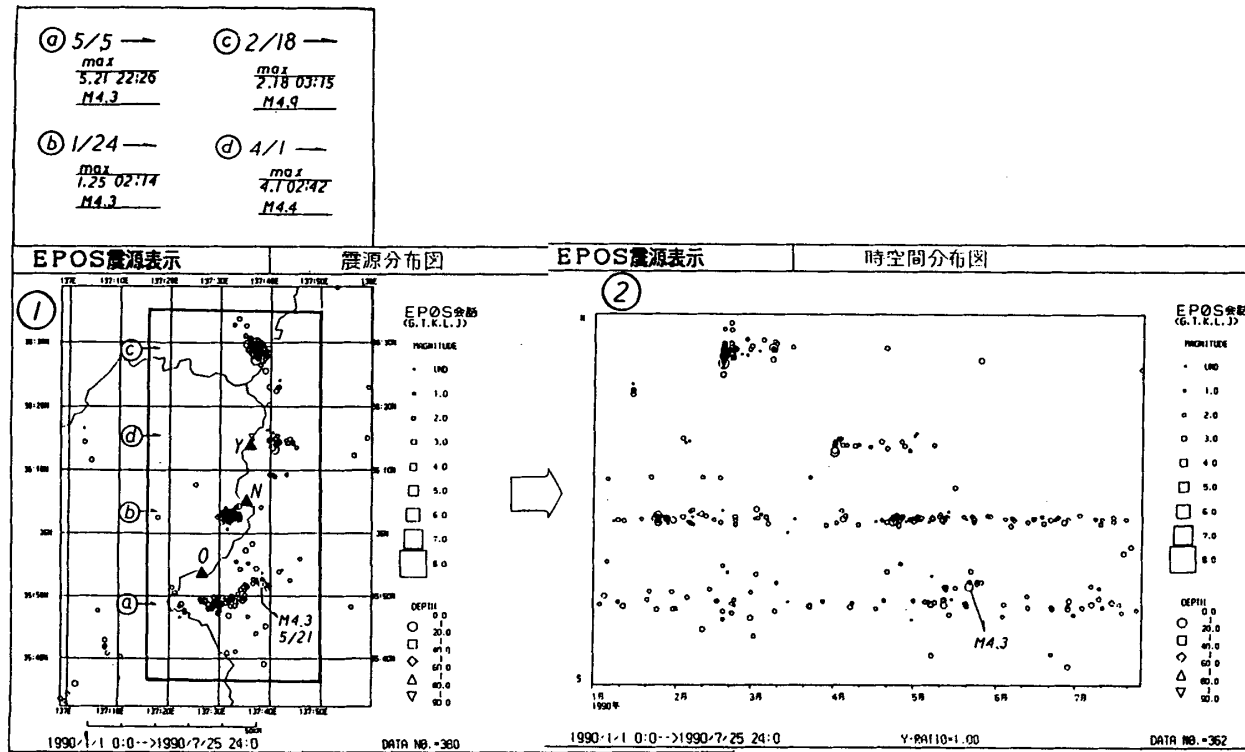


第1図 岐阜・長野県境付近の地震活動 (1990年5月1日~31日)

①: 震央分布, ②: 時空間分布, ③: M-T図

Fig. 1 Seismic activity near the border of Gifu and Nagano Pref. (May 1 - 31, 1990).

①: Epicentral distribution, ②: Space-time plot, ③: M-T diagram.



第 2 図 岐阜・長野県境付近の地震活動（1990年 1 月 1 日～7 月 25 日）

①：震央分布，②：時空間分布

Fig. 2 Seismic activity near the border of Gifu and Nagano Pref. (Jan. 1 – Jul. 25, 1990).

①：Epical distribution, ②：Space-time plot.